

平成 27 年度使用小学校用教科用図書採択結果等について

採択地区名 庄原市

種 目	発 行 者	採 択 理 由
国 語	東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合的に展開する単元を配列したり、「つながる」として既習事項、「ひろがる」として発展学習へつながるヒントを明記してあり、内容が充実している。これは、本市の課題である「書くこと」について力を付けるために、文章を読んで自分の考えを持ち、図で整理して示し、話したり書いたりする学習へつなげることができる。 ○ 児童の意欲を喚起するような創作活動や感銘を与える関連本の紹介も多くある。明確な学習の視点があり、振り返りも分かりやすい。 ○ 第2学年以上では、「日本語のしらべ」として、季節を表現する写真があり、季節の歌や言葉あそび・行事・俳句・短歌なども年間を通じて親しませることができる。
書 写	教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ めあての次に「考えよう」のポイントを示し、学習を進める視点が明記され、「ここが大切」のコーナーでまとめを整理し、「生かそう」や振り返りのコーナーもある。これら一連の活動を通して、学習の流れが分かりやすい。 ○ 教材数が多く、手紙、はがきなども題材として扱うなど、日常生活に生かせる多様な学習を仕組むことができ、発展的な学習につなぐことができる。 ○ 穂先の向きや筆の運び方など分かりやすく示されている。 ○ 写真やカラフルな色使いに加え、マスコットキャラクターを使ったり、吹き出しを使ったりして入門期の児童が抵抗感なく取り組めるような工夫がされている。
社 会	東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の動機付けのために、「つかむ」という欄を単元の初めに設定した上で「学びのポイント」「話し合ってみよう」「調べるポイント」等、学習の流れを具体的に示しながら学習が進むように工夫されている。 ○ ノートのまとめ例を挙げ、書くことを通して学習を深めさせようとしている。 ○ 教材の分量が最も多く、補充的・発展的な内容も充実しており、各単元にバランスよく設定され、活動を深めることができる。 ○ 表、グラフ、年表なども分かりやすく示されている。 ○ 地図の表示方法やカードを使用した学習例などの紹介があり、工夫されている。
地 図	帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『宇宙からながめた日本列島』や『日本とそのまわり』で近隣諸国や地理的環境を表記してあり、児童の興味・関心を高めることができる。 ○ 各地方図の中に、特色ある地形等の鳥瞰図が掲載してあったり、陸の高さや海の深さ、土地利用が細かく色分けしてあったりして、地形が分かりやすい。 ○ 『日本のすがた』として、農産物や工業製品などの都道府県の特徴を表や帯グラフで提示してあり、有効活用できる。 ○ 世界地図では、各ページにその国の国旗が示され、国と国旗を結びつけることができる。 ○ 巻末では、世界の特色を示すイラストや写真があるなど、多様な紹介がされている。 ○ 世界の国別統計では、日本からの輸出入で特に貿易額の多いものを赤太字で記すなど、日本と世界とのつながりが分かりやすくなっている。 ○ 「地図帳の使い方」が重視され、資料を活用する力が付くよう工夫されている。

種 目	発 行 者	採 択 理 由
算 数	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年・全単元で、「復習」「練習」「たしかめ」のスパイラル学習ができるようになっており、本市の課題である基礎・基本の定着を図るための学習展開が期待できる。 ○ 巻末の「発見！算数島」には、算数資料集を掲載し「わくわく算数ノート」や「分かりやすく説明しよう」により、ノートや発表の素地を学習できるような工夫も見られる。 ○ 全ての解き方や考え方を教科書に示すのではなく、児童が主体的に学び、考えていく余地を残しており、自ら学ぶ意欲と実践力を高めることができる。 ○ 全学年「学びを生かそう」の掲載により活用する力の向上、「考えを広げよう、深めよう」の掲載により思考力の向上も期待できる。
理 科	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実験から考察までが1ページ又は見開き2ページになるように表記してあり、その流れや内容をつかみ易い。学習のめあてのスペースを設け「～を調べよう」と提示して、めあてを明確にしている。条件制御が必要な実験では、同じ条件と変える条件が明示されるなど分かりやすい。 ○ 化学分野の薬品等、丁寧な紹介がしてある。 ○ 「理科につながる算数のまど」（全学年）では、算数科の学習内容が活用できたり、「地域資料集」（5・6年）では、身近な自然と学習内容との関連が図られたり、発展的な学習につながる工夫がみられる。 ○ 庄原市の地層やクジラの化石等も紹介されている。 ○ 「話し合い」「力だめし」等で科学的な言葉を使う機会が設けてあり、言語活動の充実を図ることができる。
生 活	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然に関わって取り上げている教材が多く、内容が豊富である。 ○ 学習内容について、4段階構成となっており、興味・関心を高めながら身近な人々・社会・自然と関わる活動ができるよう配慮されている。様々な活動を通して自分のことや生活について考え、生活する上で必要な習慣や技能を身に付けることのできる内容・構成となっている。 ○ 単元終了時には、伝える活動が設定されており、気付いたこと、学んだことを表現できるように工夫されている。 ○ 校外の活動に役立つ「たんけんブック」も充実している。
音 楽	教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 扱っている曲数が多く、幅広く楽しめる。「音楽ランド」では親しまれている曲が多い。 ○ 全校合唱に対応できるよう、第1学年から共通の題材を扱っている。様々な規模の学校に合わせて扱うことができ、多様な音楽活動もできるため、本市の活用に効果的である。 ○ 情景を豊かに想像できるようなページをはさんだり、写真をふんだんに使ったり、著名な音楽家からのメッセージを巻頭に載せたりするなど、興味をもたせることができる。 ○ 日本の音楽に関する内容の扱いが丁寧で豊富である。特に、「にっぽんのうた みんなのうた」では、日本の代表的な唱歌や生活・風景などの写真を載せ、情景が思い浮かぶ工夫が取り入れられている。伝統文化にもふれている。 ○ 巻末に多くの楽器の奏法について紹介してある。

種 目	発行者	採 択 理 由
図画工作	日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ はじめのページを開いた時に、造形遊びの様子を撮影した写真が多く掲載しており、図画工作科の学習への興味・関心を醸成できる。作品の周りにも楽しく活動している児童の様子が載せてあり、創る主体の児童の生き生きとした様子が伝わり、児童の意欲が喚起される工夫がされている。 ○ 創作のための材料や創作過程が写真で示されているので分かりやすく、作品を創作するイメージがわかりやすい。 ○ 落ち着いた色彩の作品が多く示されており、俵屋宗達「風神雷神図」やピカソ「ゲルニカ」などの芸術作品が大きく記載され、写真の発色もよい。 ○ おはなしの絵が紹介されており、読書活動と関連付けられた展開ができる。 ○ 鑑賞では、ストーリーを考えさせ、豊かな発想を喚起させることができる。
家 庭	東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科の特性上、実習が多いことから、実物大の写真が多く、まねることで学習ができるようになっているので、分かりやすい。特に、左利きの児童には、包丁の持ち方や裁縫の仕方など視覚的支援となっており、指導しやすい。 ○ 巻末の「いつも確かめよう」のコーナーで道具の使い方が示してあり、分かりやすい。 ○ 教科書に書き込めるところが多くある。自由研究を学期の終わりに設けてあり、発展的な学習に取り組むことができる。 ○ 日本の伝統的な衣食住に関する紹介を分かりやすく提示してある。
保 健	学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ここで学ぶこと」と題して学習課題が記述されており、課題把握が明確にできる。単元の見通しをもたせるための記述が簡潔で、学習内容を理解しやすい。「もっと知りたい・調べたい」と児童の立場に立った表現による表題で発展学習につなげようという意欲が喚起される。 ○ イラスト・写真が充実しており、イメージしやすく分かりやすい。 ○ スクールカウンセラーの具体的な言葉、インターネットやパソコンの使用に関する記述なども載せてあり、今日的課題に対応している。 ○ 「育ちゆく体とわたし」の単元では、「新しい命」について発展学習として取り上げ、ていねいに分かりやすくまとめてある。

※ 複数の町で構成される採択地区においては、事務局を担当する町から提出すること。

※ 「発行者」欄には、教科書目録により略称を記入すること。

※ 紙幅は必要に応じて広げること。